

## 令和 7 年度研究開発学校の研究開発課題の設定について

研究開発学校の指定を受けようとする学校においては、先行研究も踏まえながら、以下に「研究開発の募集課題」として示した 3 つの課題（複数も可能）に即して、研究開発課題を具体的に設定すること。

各課題については、「研究開発の視点の例」を示している。各学校における課題の設定に当たっては、必ずしもここで示している視点に限る必要はないが、これらも参照しつつ、教育課程の在り方について長期的な視野を持ちながら、各学校の創意工夫を生かして研究開発課題を設定すること。

その際、以下の点に留意すること。

- （１）研究開発学校制度は全ての国公立学校に適用される教育課程の基準である、学習指導要領の改訂に資する実証的な資料を得ることを目的とするものであることから、その趣旨を十分に踏まえること
- （２）他の学校においても実施できる汎用性の確保に特に留意し、個々の環境条件の下で得られた結論について、一般化がどの程度までできるかを明確にするとともに、他の学校への普及や展開が期待できる内容にすること

なお、研究開発課題は教育課程全体を見通したものであることが望ましいが、研究開発の対象は必ずしも複数の教科等にまたがるものである必要はなく、1 つの教科等に限られるものであってもかまわない。

### 【研究開発の募集課題】

- |                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 多様な個性や特性、背景を有する子供達を包摂する柔軟な教育課程の編成 |
|--------------------------------------|

#### （研究開発の視点の例）

＜一人一人の興味・関心に応じた学びの充実のための弾力的な教育課程編成＞

資質・能力の育成に向けて単元や題材等の内容・時間のまとまりを見通して指導計画を作成したり、ICT を効果的に活用した指導方法の工夫等により単位授業時間を柔軟に設定したりする等の取組を通じて、各教科等について標準授業時数を下回る教育課程を編成し、生み出された時間により児童生徒一人一人がその興味・関心や学習上の課題等に応じて柔軟に学びを選択できるような時間を設定したり、教師の研修や授業改善のための時間に充てたりするなど、一人一人の興味・関心に応じた学びの充実のための弾力的な教育課程の編成・実施の在り方について研究する。

＜個別の教育的配慮を要する児童生徒への特別な教育課程編成＞

不登校児童生徒や特異な才能を有する児童生徒（※）等、個別の教育的配慮を要するが特別支援の対象とならない児童生徒に対する、校内外教育支援センター等の必ずしも学校に限らない場所における学びも取り入れた、個別の教育支援計画や指導計画に基づく特別な教育課程の編成・実施の在り方について研究する。

※このほか、発達上・学習上の特性等があり、在籍学年の学習に困難を示す児童生徒等を含む。

## 2. 主として情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成に向けた教育課程に関する研究開発

（研究開発の視点の例）

### ＜義務教育段階での情報活用能力の重点的な育成に向けた教育課程の研究＞

義務教育段階において、例えば新たな教科等の設定や、教科・領域構成の変更などを通じて、情報活用能力（情報モラル等を含む）をより効果的に育成するための教育課程の編成・実施の在り方について研究する。その際、特に総合的な学習の時間をはじめとする探究的な学びと一体的な充実が図られるよう留意する。

### ＜生成 AI 等を活用した言語能力の効果的な育成に資する教育課程の研究＞

生成 AI を活用して、例えば児童生徒の興味関心や技能の程度に応じた個別的な学習教材を作成・提供したり、「話すこと」「書くこと」等の活動の量を格段に増加したり質の向上を図るなどの取組を通じて、効果的に外国語や日本語の言語能力を育成するための教育課程の編成・実施の在り方について研究する。

## 3. その他

（研究開発の視点の例）

### ＜幼小接続＞

幼稚園等と小学校のそれぞれの教育課程・指導方法等の良さを互いに取り入れつつ育成したい資質・能力の系統性を確保し、円滑な接続を図るための一体的な教育課程の編成・実施の在り方について研究する。

### ＜学習語彙の活用を通じた授業改善＞

日本語における学習言語がどのようなものであるべきかを整理するとともに、学習言語の習得に資する授業等における工夫を行うなどの取組を通じて、学習語彙の活用を通じ、各教科等における資質・能力の育成を円滑にするための教育課程の編成・実施の在り方について研究する。